エグゼクティブサマリー

アジアの台頭が世界に変化をもたらしています。これは、21 世紀（アジアの世紀）の明確な特徴です。このような動向によりあらゆる地域の人々に大きな影響が及びます。

アジアの著しい成長は、既にオーストラリアの経済、社会および戦略環境に変化をもたらしています。今後の変化の規模と速度を考えると、オーストラリアは歴史的に真の変革期に入ろうとしています。

わずか 2、3 年の間にアジア地域は、製品およびサービスの世界最大の生産地となるばかりでなく、世界最大の消費地ともなります。アジアは既に世界最大の人口を抱える地域であり、今後は世界の大半の中産階級が居住する地域となっていきます。

アジアの世紀はオーストラリアにとっての機会です。世界の中心がアジアにシフトするにつれ、「距離」の問題が「近接」であることの将来性に取って代わられようとしています。オーストラリアは適切な時期に適切な場所（アジアの世紀におけるアジア地域）に位置しています。

過去数十年間にわたり、オーストラリア企業、輸出業者、地域社会は、アジア全域での活動を拡大してきました。今日、オーストラリアでは鉱物・エネルギーセクタの好調がアジアの台頭を示す最も顕著なことですが、それだけではありません。今後、アジアの成長はオーストラリアの経済および社会のほぼすべての面に影響をもたらすことになります。

ますます裕福で流動的な中産階級がアジア地域に出現し、新しい機会が生成されています。これらの中産階級の人々は、医療・老齢介護から教育にいたるまで、さらに家庭用品、観光、金融・財務サービス、および高品質の食物製品など、多様な範囲にわたる商品とサービスを要求しています。

経済的な恩恵だけでなく、教育、文化そして個人レベルでの交流など、アジア全域で強固な関係を構築するための貴重な機会が多数あります。

オーストラリアには、アジア諸国と長期にわたり関与してきた強みがあります。中国、日本、インド、インドネシア、韓国などのアジア諸国とオーストラリアとの関係は、強固で堅調です。ただし、アジアの世紀ではより深く広く関与していく新しい段階に入らなければなりません。

本白書では、この次の段階におけるオーストラリア全体（政府、企業、組合、そしてより広範な地域社会）のためにロードマップを提供します。私たちの目標は、完全にアジア地域の一部であり、世界に向けて開放されている、より繁栄した強健な国としてのオーストラリアの地位を確保することです。

オーストラリアは最初から有利な立場にあります。アジア地域がオーストラリアに多大な貢献をするように、オーストラリアもアジア地域に多大な貢献をすることができます。オーストラリアには、世界一流の機関、多文化の熟練度の高い労働力、そして生産性の高い、開放された、強健で世界でも有数の堅調な

経済があります。これらの強みは、過去 10 年間に行われた一連の経済改革と、世界金融危機の最悪の影響を回避するためのオーストラリアのずば抜けた行動を含む、優れた意思決定によって補強されています。

オーストラリアの強みは、アジアの諸国との交流に長い間反映されてきました。過去 50 年以上にわたり、オーストラリアの対アジア貿易が貿易総額に占める割合は大幅に増加しました。金融、政治および文化的な交流も進みました。オーストラリアは、地域全体の国々と強固で親密な関係と友情を築いています。

ただし、オーストラリアの成功は、偶然の産物ではなく選択に基づいています。成功するためには、これまでに効果を発揮してきた政策と道筋を今後も維持しなければなりません。国の機関、文化の多様性、そして外向き志向の社会を含む、強固な社会基盤を強化する必要があります。

これだけではありません。アジアで進行している急速な変化に国民全員が対応する必要があります。

アジアの世紀で成功するために、オーストラリア人は 5 つの主要分野で行動する必要があります。

まず、アジアの世紀がどのように展開していくかに関わらず、オーストラリアの繁栄は、我が国の強みを基盤として達成されます。オーストラリアの公平な社会と、豊かで開放された強健な国内経済の基盤を強化する必要があります。既に優れた実績を上げている分野を基礎として、比較優位性を向上させる必要があります。このためには、技能と教育、改革、インフラ、税制改革そして規制改革という、生産性の 5 つの柱に対する継続的な改革と投資が非常に重要です。

2 つ目に、オーストラリアの成功に役立つ能力を開発するために、国としてさらに努力しなければなりません。私たちの最大の責任は、オーストラリアの生産性の実績を推進する技能と教育を通じて国民に投資し、オーストラリア人全員が参加して貢献できるように確認することです。アジアの世紀で特に重要な能力には、職務固有の技能、優れた科学技術、順応性、強健さが含まれます。創造性とデザインに基づく思考によって複雑な問題を解決することは、今世紀に出現する課題への対応に役立つ可能性がある、オーストラリア人の特徴的な強みです。また、アジアをさらに理解できるように、国としてアジアの文化と言語をより広く深く理解する必要があります。このような能力は、アジア地域全体で、より強固な結び付きやパートナーシップを築くために必要です。

3 つ目に、アジア地域でオーストラリアが商業的に成功するには、非常に革新的で競争力のあるオーストラリア企業や機関が、アジア地域のその他の組織と協力関係を築く必要があります。オーストラリア企業がアジア市場で展開し、アジア市場と結び付くためには、新しいビジネスモデルと考え方が必要になります。私たちは、より開放され、統合されたアジア地域を作るために取り組み、貿易、投資、パートナーシップを推進します。企業はアジア地域で生み出される機会をつかむために、ビジネスモデルを順応させます。

4 つ目に、オーストラリアの未来は、多様なアジア地域の安定と持続可能な安全保障に決定的に結び付いています。オーストラリアは持続的な安全保障を支援するために、アジア諸国との協力を通じて多大な貢献をすることができます。私たちは二国間で、および既存の地域の枠組みを通じて、信頼および協力関係を継続的に構築します。また、規則主義に基づく地域と世界の秩序においてアジア諸国が担うより大きな役割を支援し続けます。オーストラリアの米国との同盟、およびアジアにおける米国の強力なプレゼンスは、中国がアジア地域の発展に完全参加することと同様に、地域の安定に役立ちます。

5 つ目に、アジア地域全体にわたりあらゆるレベルでオーストラリアの深く広い関係を強化する必要があります。これらは、政治的、経済的な関係であると同時に、社会的および文化的な関係でもあります。個人と個人のつながりを強化することで、経済的、そして社会的に多大な恩恵がもたらされる可能性があります。アジア全域にわたるより集中的な外交活動を通じて、アジアのパートナーとの関係強化および構築において連邦政府が主導的な役割を担う一方で、企業、組合、地域団体、教育・文化機関など、広範な分野にわたるその他の組織も重要な役割を果たします。より強固な関係を築くことで多くの国民がアジアで何が起こっているかについての理解を深め、アジア地域の成長から恩恵を受けることができるようになります。その結果として、アジア地域の多くの近隣諸国が、現在よりもオーストラリアを理解するようになります。

アジアの世紀で成功するには、歴史を通じてオーストラリアが経験してきた、企業、組合、地域社会、政府が連携して、オーストラリア全体で取り組む必要があります。

オーストラリアが必要とする能力と関係を構築することは、オーストラリア人全員の利益であり、国益でもあります。それにより、私たちはアジア地域に貢献し、アジア地域から学び、そしてこれらの機会を完全に活用することができます。

今後の課題には持続的な努力が求められます。オーストラリア人は、特にアジア地域の国々の多様性を考慮すると、一夜にして、または 5 年以上かけても、強固な関係を構築したり、新しい技能を学ぶことはできません。即時に実行できる行動もありますが、国全体の社会の間でのさらなる対話、詳細な計画、そして世代を超えた慎重な実施が必要となる行動もあります。

第 1 章から第 4 章では、ここ数十年間にわたるアジアの驚くべき台頭と 2025 年までの見通しについて（図 1）説明します。さらに、アジアにおけるオーストラリアの位置と、2025 年までの展望について考察します。これにより、アジアの世紀におけるオーストラリアのロードマップの状況を説明しています。

第 5 章から第 9 章では、2025 年に向けた一連の野心的な国家目標とその道筋を示しています（図 2）。これらの国家目標を押し進めて実施することが、アジアの世紀を最大限に活用するための行動指針となりますが、これらの目標を達成するには、社会全体が協調して行う、調整された努力が必要となります。

図 1：アジアの世紀の状況の設定

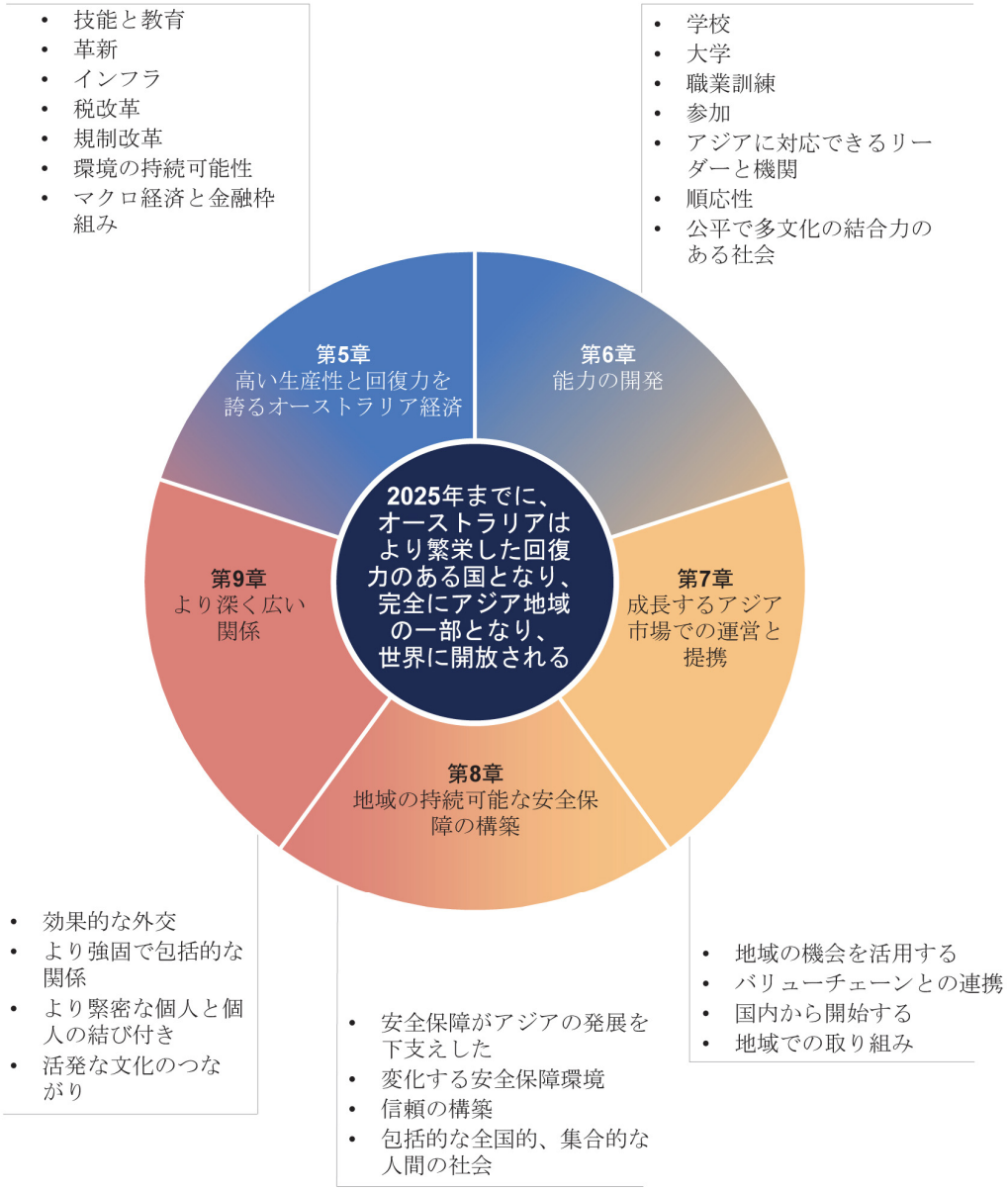
- アジアの台頭の驚くべき規模と速度
- 人材と資本の投資
- 市場と制度改革
- 開放された世界の貿易制度と安定性
- アジアが世界を変えた

- 今後の大幅な所得増加
- 貿易と消費パターンの変化
- 資源をめぐる競争
- 安定がもたらす繁栄

- オーストラリアの比較優位性
- 人口動態と環境上の課題
- アジアの発展がもたらす機会

- 機関の結び付きを促進
- オーストラリア経済の開放
- オーストラリア社会への文化的貢献

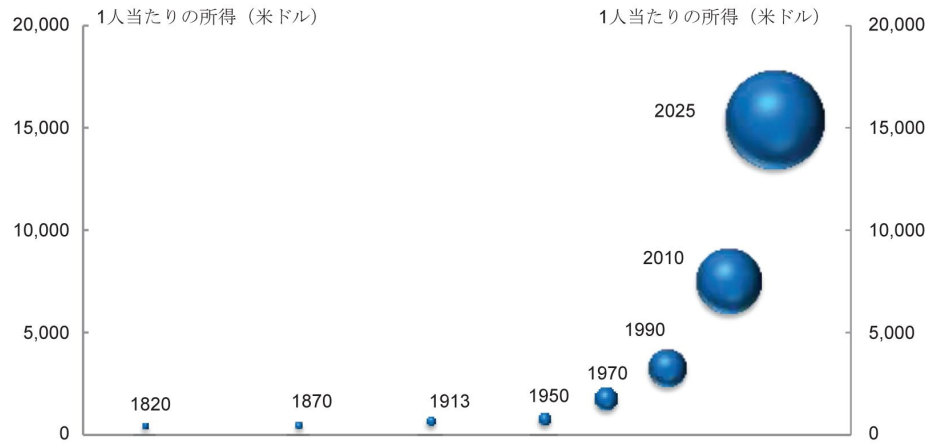
図 2：アジアの世紀の指針となるロードマップ



アジアの台頭

アジア地域が変化している速度と規模には、目覚しいものがあります（表 1）。[1]過去 20 年間で、中国とインドの世界経済に占める割合が約 3 倍となり、絶対的な経済規模は約 6 倍以上に成長しました。2015 年までに、アジア地域全体は世界の生産量の約半分を占めることになります。数百万もの人々が貧困から脱却し、寿命を伸ばし、そして世界とのつながりを強化することになります。

表 1：今後も継続することが予想されるアジアの経済成長



商品およびサービスの開かれた世界市場を効果的に活用できるアジアの能力は、アジア地域の経済の変化に重要な役割を果たしてきました。その中核に位置してきたのが人材と固定投資への投資に対する幅広い取り組みです。

アジアは、いつまでも続く世界的な課題に直面しながら、発展を続けています。これらの課題の 1 つ目は、主要な先進国の経済における現在の脆弱性であり、今後は経済成長の鈍化が予想されています。さらに、気候変動などの世界的な問題、および食料や水、エネルギーの安定供給の分野で新しく出現しているその他の問題があります。3 つ目に、経済的、環境的に持続可能な成長を促進するための市場ベースの改革の継続、都会化への対応、一部の国における人口の高齢化、社会セーフティネットの課題を含め、アジアも政策上の課題に直面しています。

1　表1の円はアジア諸国のGDP規模を示す。2011年購買力平価調整済み（Maddison 2010、IMF 2012c、Conference Board 2012および財務省予想）。アジアと予想の定義についてはグロッサリー参照。

アジアの経済成長により、アジア地域内および世界中でその他の力関係が変わっています。米国は当分の間、アジアにおける最も強力な戦略的アクターとしての立場を維持します。ただし、アジアの大きな国々特に中国とインドにより、確立された戦略秩序が変わりつつあります。国が豊かになったことで、国家は防衛力を近代化し、最新の軍事能力を獲得し、国力を誇示することができます。同時に経済成長によってエネルギー、水、食料資源への負担が高まります。北朝鮮の核開発計画や未解決の領土問題など、地域における従来の戦略的緊張は継続します。オーストラリアの戦略的な勢力図は、より混み合った複雑なものになります。

アジア地域の安定と繁栄は、大国間、特に中国、インド、日本、米国間の関係がどのように進展するかにかかっています。アジアの戦略的秩序が変化する中で、ある程度の競争は回避できません。ただし、アジア地域のすべての国々は、安定と経済成長に多額の投資をしています。複雑な相互依存関係および二国間協定などが、安定化に大きく貢献しています。

誤算の可能性は低いかもしれませんが、誤算が発生した場合には深刻な結果となる可能性が高くなります。これらのリスクが信頼、対話および地域内での習慣的な協力を構築するための二国間および地域での取り組みを前進させています。本白書では、これらの取り組みについて考察しています。

アジアにおけるオーストラリア

オーストラリアは、アジアの世紀がもたらす機会を最大限に活かせる有利な立場にあります。セクタにより状況は異なりますが、オーストラリア経済は世界でも最も堅調な経済の 1 つであり、今後も明るい見通しが予想されています。失業率は低く、抑制されたインフレ、高い交易条件に恵まれています。鉱物資源価格の記録的な高騰はピークを過ぎたと思われますが、鉱山やエネルギーへの多額の投資は今後も予想され、大規模な生産および輸出も期待されています。

オーストラリアの財政状況は世界でも最高のレベルで、政府の債務は低くなっています。金融機関は健全であり、最高水準の信用格付けを受けています。オーストラリアには、革新および複雑な問題解決においてその能力を証明してきた、多文化出身で高い技能を持つ創造性豊かな国民がおり、膨大な天然資源と、それらを開発するたものノウハウと技術も備えています。

オーストラリアの外交政策と戦略的枠組みはアジアでの強固な関係の構築に貢献し、地域、そして時には世界的にも影響を与えることができます。

オーストラリアには多数の強みがありますが、アジア地域における急速な変化と国内経済の移行に確実に順応していくために、行動を起こさなければなりません。

過去 10 年間、オーストラリアの天然資源に対するアジアの需要により、稀に見るほどの交易条件の急増、さらに鉱山・エネルギーセクタへの目覚ましい投資ブームが引き起こされました。この結果として、過去 10 年間の生産性の向上は緩やかでしたが、国民所得は大幅に増加しました。

オーストラリアの交易条件は今後しばらくの間高い水準を維持すると予想されますが、生産性の向上は国内の生活水準向上のために非常に重要です。これには、幅広い分野における持続可能な成長が必要です。

私たちの目標は、継続する変化にもかかわらず、強健で多様性に富んだ経済を実現し、国民がより多くの所得を得られるようにすることです。

アジアの世紀では、特にオーストラリアの若い人々のために、次のような多大な機会およびキャリアの選択肢が（中小企業を含む）様々な企業で提供されます。

- 鉱山・資源関連セクタ：アジア地域での継続的な経済成長により、エネルギー・鉱物資源への需要が促進される
- 観光、スポーツ、教育、芸術・クリエイティブ業界、専門職、銀行・金融サービス、科学・技術セクタ：ますます豊かになるアジアのため
- 農業セクタ：アジアの人口増加と中産階級の増加に伴う食料需要の増加により、価値の高い食料の重要な提供者としてオーストラリアに機会が提供され、生産量と研究の増大、規制変更への対応、および能力構築のために、アグリビジネスによる投資の増加が必要となる
- 製造業およびサービスセクタ：オーストラリア企業が地域・世界のバリューチェーンに加入し、統合と専門化がますます進むことで、これらの企業が高価値の革新的な製品・サービスを提供することになる
- 環境に配慮した持続可能な成長、天然資源管理、インフラ開発、都市計画、医療・高齢者ケアのセクタ：オーストラリア人が近隣諸国とビジネス取引をするために専門知識を利用するため。

これらの機会を捉えるためにオーストラリアは、アジアとの結びつきを深め、より広くアイデアを交換し、新しい知識と能力を取得しなければなりません。アジアは、新しいアイデア、芸術と文化、技術、および最先端の科学の重要な情報源です。オーストラリアはアジアの発展から大きな恩恵を受けられる立場にあります。ますます、オーストラリアの実績をアジアにおける卓越性の基準によって評価するようになっています。

芸術、文化、および創造性は、公式にも、非公式にも、オーストラリアのアジアとの関係を拡張し、強化できます。現存する世界最古の文化を有し、多様性を歓迎する国としてのオーストラリアの文化的な強みが、人々、ビジネス、機関、そして政府を結び付けるのに役立つ、敬意、理解、包括の価値を支持しています。

オーストラリアとアジア諸国間での双方向の人の移動は、さらにオーストラリア社会と生活様式の構造をさらに強化します。オーストラリア人がアジア地域に多大に貢献するように、アジア地域の高度な技術を持つ人々、才能ある人々が留学・就職目的でオーストラリアに集まってきます。

オーストラリア経済のすべての部分に、現在同じ機会があるわけではありません。一部の業界と地域は、過度期に困難を感じています。政府は企業や組合、およびより広い地域社会と連携して、過度期にあるセクタや地方に対する技能と教育の向上、国内外の市場への参入支援など、対象を絞った支援に取り組んでいます。

一部のビジネスモデルには課題が発生していながら、他の分野では新たな開発の機会が創出されています。オーストラリアの地方は国の経済、社会、環境の構造に多大な貢献をしています。オーストラリアの地方には人口の約 3 分の 1 の人々が居住しており、地方に集中している第一次産業はオーストラリアの輸出の約 3 分の 2 を占めています。アジアからの力強い需要が、ダーウィン、タスマニア、スペンサー湾北部を含む、オーストラリア北部から西オーストラリア州、クィーンズランド州など各地の開発を支えることになります。

オーストラリアには、巨大な構造調整を多数の他の国々よりも効果的に管理してきた実績があります。ただし、アジアの世紀がもたらす変化の規模と機会は大規模で永続的なものであるため、オーストラリアの全州にわたる国全体による取り組みが必要です。企業、地域社会、および機関がすべて、変わりつつある世界経済に対する独自の対応を先導する必要があります。

最大限の繁栄を実現し、課題を効果的に管理するために、国民全員がより賢明に働く必要があります。これは、適切な意思決定をし、過去数十年にわたる誇るべき変革の伝統を維持するという、近年実行してきたことを継続することを意味します。

2025 年に向けての 25 項目の国家目標：アジアの世紀の指針となるロードマップ

アジアの台頭はオーストラリアに大きな機会をもたらします。アジア地域の完全な一部として世界に開放された、さらに繁栄する強健なオーストラリアというビジョンを実現するために、政府は 2025 年を目指して 25 項目の目標を特定しました。実現への指針となる政策の道筋とともに、以下にこれらの国家目標の詳細を記載しています。

高い生産性と強健さを誇るオーストラリア経済（第 5 章）

ロードマップに描かれる目標と道筋をまとめることで、オーストラリアの経済と社会を強化する仕組みが提供されます。

- 2011 年に第 13 位であったオーストラリアの一人当たりの GDP は、2025 年までに世界のトップ 10 に入り、生産性の向上が必要とされる。
- これにより、オーストラリアの一人当たりの平均実質国民所得は 2012 年の約$62,000 から、2025 年には約$73,000 に増加する。

技能と教育

1. オーストラリア国民全員に、堅調な経済と公平な社会に完全に参加するために必要とされる、技能と教育を取得する機会が与えられる。

   - オーストラリア教育制度は世界のトップ 5 にランク付けされ、大学および訓練機関は世界の最高水準となる。

道筋

- オーストラリアの幼児教育、学校、大学、訓練制度を改善し、生産性の向上およびアジア諸国との連携強化を図るための強力な土台とする（道筋の詳細な説明は、後述の目標 9ー13 を参照）。
- 教育と訓練、保育サービス、有給育児休暇、雇用サービス、高齢者支援などを通じ、現在就業率が低いグループからの参加を促進して、より多くの国民がアジアの世紀の恩恵を受けることができるようにする。
- 2009 年フェア・ワーク法と継続的なパートナーシップを通じ、従業員、雇用主、組合が、継続的改善と生産性向上のために協力する職場文化を継続的に作り上げる。

革新

2. オーストラリアは、世界トップ 10 に入るイノベーション制度を実現する。この制度では、進化するオーストラリアの得意分野を強化し、一流の研究者、企業および国際的なパートナーシップを誘致する、独創的な問題解決の文化を持つ企業の活力と卓越性が支援される。

道筋

- 産業と革新に関する声明を通じて、オーストラリア企業のために野心的な産業および改革の政策課題を明確に表現し、新しい職を創出し、市場機会を獲得する。
- 全国研究投資計画を通じ、研究インフラ、オーストラリアの労働力、グローバル化の促進を含む、オーストラリアの科学技術能力に対する投資の枠組みを提供し、オーストラリアとアジア地域が直面している国際的な課題の対応を支援する能力を維持する。
- オーストラリアの革新制度のための資金調達の選択肢を改善し、民間投資の誘致を容易にし、起業家の支援、科学・技術における政府の投資の活用、アイデアの商業化を促進する。
- 企業、研究セクタ、および政府による共同作業を支援し、革新を推進する規模と能力を構築して、オーストラリアがアジア地域に出現する機会を最大限に活用できるようにする。
- アジアが世界の科学と革新の本拠地となるにつれ、オーストラリア人の研究者がアジア地域との連携を拡張し、強化できるように支援する。

インフラ

3. オーストラリアは、政府と民間セクタが今後最低 20 年間のインフラのニーズを計画して優先できるように支援する、全国的に役立つインフラの開発、資金提供および維持のために、体系的な全国的枠組みを実施する。

   - インフラ投資は、オーストラリアのアジア地域内で増大を続ける貿易と投資を支援し、生産性を向上させ、年間数十億ドル規模で将来の混雑費用を削減する。

   道筋

   - インフラストラクチャー・オーストラリア（Infrastructure Australia）を通じての取り組みを含め、州・準州、民間セクタ、教育機関と協力して、回廊計画、管轄区域を越えたネットワーク、および国家的に重要なプロジェクトに焦点を当てることで、既存のインフラ計画を拡張する。
   - 州・準州と協力し、投資家が（老齢年金基金を含む）インフラの資金提供へ参加するための障壁排除を含め、新規インフラプロジェクトへの民間セクタによる関与を増やし、プロジェクト納入までの時間を短縮するための代替の方法を考慮する。
   - 運輸・インフラ常設審議会（SCOTI）などのフォーラムを通じ、州と準州が責任を果たす支援をするために、透明で前向きな分析を提供できるようにすることで、オーストラリアの都市の生産性、施設、および住みやすさを向上させる。
   - 小売エネルギー市場の競争の促進を含め、インフラの提供と使用を管理する規則を強化し、近日発表予定のエネルギー白書で概要されるように、エネルギーネットワークへの投資の効率性と不必要なコストの回避を確認し、さらに第三者の利用に関する規制を見直す。

4. オーストラリアの通信インフラ市場は世界トップクラスとなり、アジアでの急速な交流とアイデアの普及および商取引を支援する。

   - 全国ブロードバンドネットワーク（NBN）は、アジア市場との地理上の障壁の橋渡しとなり、すべてのオーストラリア企業と世帯が、オンラインでより多くの活動を実行できるようになる。
   - 全国規模のファイバー回線と無線衛星サービスを通じて、オーストラリア人全員が高速ブロードバンドへアクセスできるようになる。
   - 2021 年まで段階的に展開され、毎秒 1 ギガビットの速度に対応する、93%の建物で高速ブロードバンドファイバーが、オーストラリアで利用できるようになる。

   道筋

   - NBN の建設を完了し、デジタルコマースおよび生産性の強化を図り、アジアとの貿易と経済的結び付きを強化する。

- NBN の利用の増加を含め、新しい技術市場に参入するための規制およびその他の障壁について見直し、調査する。

税制

5. オーストラリアの税制および譲渡制度は、効率的かつ公平であり、公共のニーズと社会的ニーズを満たすことで経済成長を支援するための持続可能な税収入を提供しながら、資本基盤への継続的な投資、労働への参加を促進する。

道筋

- オーストラリアの税制が、企業がアジアの世紀に順応し、アジアの世紀を活用するために支援し続けることを確認する。この方法には、企業のための繰り延べ損失計上などの方策、および小企業を対象とする$6,500未満の資産の当年度中の全額償却などの簡単な税務協定などが含まれる。
- 税制、譲渡および老齢年金基金の制度が、国民、特に高齢者層の国民に就労を奨励するものであり、退職後も最低限の生活水準を実現することを確認する。
- 非課税所得額を最低$21,000 まで引き上げ、確定申告の提出義務からより多くの国民を解放し、労働市場への参加を促進する。
- 効率的でない税制を段階的に廃止して効率的な課税ベースを有効活用するために、州・準州が主導する税制改革を促進する。これには、ニュー・サウス・ウェールズ州および南オーストラリア州の財務省が策定した州の税制計画などのプロセスを使用することが含まれる。
- 税制改革の目標および過度期の道筋に関する議論を通知する、政策関連の調査を提供するための税制調査機関を設立して、地域の協力と交流の機会を提供する。
- 作業部会や円卓会議などのプロセスを使用して、企業およびコミュニティーグループと税制改革に関する全国的な対話を継続する。

規制改革

6. オーストラリアは世界のトップ 5 に入る、最も効率的な規制を施行している国となり、年間に数十億ドルの事業コストを削減する。

道筋

- 2012 年 4 月にオーストラリア政府間評議会で同意されたとおり、企業のコストを削減し、競争および生産性を向上させるための主要な改革に対する 6 つの優先分野を推し進める。
- 州、準州、企業と全国生産性協定を締結し、規制と競争の改革を推進する。
- ビジネス規制および競争に関する作業部会と連邦財政関係に関する常設審議会で既に特定されている、高価値の改革を進める。

- 重複の排除とオンラインの事業報告の拡大により、企業の報告負担を削減する。
- COAG およびビジネス諮問フォーラムなどの過程を通じて、規制実施のすべての分野にわたり、規制の成果を増大させるための継続的な改善を推進する。その際、リスクベースの取り組みの適用および改革の実装と施行を重視する。

環境の持続可能性

7. オーストラリアの経済と環境資産は、オーストラリアの未来の世代が健康で幸福な生活を送ることができるように、持続可能な方法で管理される。

- オーストラリアは 2000 年の水準より排出量を 5%以上削減し、2050 までに 2000 年の水準より 80%低い排出量を達成することで、着実にクリーンエネルギーの未来へ向かっている。
- オーストラリアは、持続可能な食料生産方法、持続可能なエネルギーと水の利用、生物学的多様性の保全における世界的なリーダーとなる。

道筋

- 国際的な活動と共に、クリーンエネルギーの未来（Clean Energy Future）政策を完全に実施する。陸上輸送セクタの改革、よりクリーンなエネルギー源の開発、および国際的な排出量取引制度に参加することにより、オーストラリアの温室効果ガス排出量と絶対的な温室効果ガス排出量を削減する。
- オーストラリアの電力の 20%が 2020 年までに再生可能なエネルギー源により賄われるようにする、という公約を保持する。
- オーストラリアが太陽エネルギー技術の研究開発の世界的なリーダーとしての立場を維持し、再生可能エネルギー技術およびエネルギー効率の商品化と開発における世界的リーダーとなるために、支援を継続する。
- マレーダーリング川流域計画の確定を含め、健全な河川、安定した地域社会、および持続可能な食料生産を達成する。
- 2015 年に予定されている、2010 年ー2030 年オーストラリアの生物多様性保護戦略（Biodiversity Conservation Strategy）の見直しの一環として、オーストラリアの非再生可能資源に対する需要の増大がもたらす生物多様性への影響を評価する。
- 世界最大の海洋公園ネットワーク計画を実施し、陸地におけるオーストラリアの生物多様性保護を継続する。
- オーストラリアにおいて、環境会計の継続的な開発と利用を支援する。

マクロ経済と金融の枠組み

8. オーストラリアのマクロ経済と金融の枠組みは、この移行時期において世界でも有数の優れた枠組みの 1 つであり続ける。

- オーストラリアは、健全で持続可能な財政状態と、AAA の信用格付けを維持する。
- オーストラリアは、奥深く流動的な社債市場で国民貯蓄を利用して投資資金の国内比率を高め、海外のホールセール資金調達市場への依存性を低くする。

道筋

- 変動為替制度、独立した金融政策、および中期的な財政の枠組みなどを含む、オーストラリアの長期にわたる経済成長を支えてきたマクロ経済政策の設定を維持する。
- 中期的に、平均で予算黒字を達成するという財政目標を満たし（経済が動向以上で成長している一方で黒字が最低で GDP の 1%となるまで、実質支出の伸びは平均 2%を上限とするなど）、中期的に政府の純資産を増やす。
- バーゼル III の資本・流動性の規制を実施し、老齢年金基金の残高を増額するほか、適正価格の信用枠融資の確保を通じて、生産的な投資や世帯の選択肢増加を実現し、オーストラリアの金融制度の健全性、安定性、競争力をさらに強化する。
- 資金運用の堅調な増加を支援するために、オーストラリアの資金運用業界が効率的で規制管理されていることを確認する。
- リテール投資家に対する高レベルの保護を維持しながら、リテール社債市場において市場開示義務を合理化し、取引費用を削減することにより、奥深く流動的な国内社債市場の開発を支援する。
- オーストラリア国債を証券市場で取引できるようにすることで、より明確なオーストラリア社債の基準価格を提供する。

能力の開発（第 6 章）

学校を通じて

9. オーストラリアの教育制度は世界の世界上位5ヶ国に入り、どの背景の生徒に対しても優れた結果を生み出し、時間の経過と共に実績が体系的に改善されている。
   - 生徒の読解力、科学・数学の基礎能力における実績、および質が高く非常に公平な教育制度を提供することで、2025 年までにオーストラリアは世界上位 5 ヶ国に入る。
   - 2015 年までに 20～24 歳までの若いオーストラリア人の 90%が高校 3 年生修了資格または相当する資格を持つようになる（2010 年には 86%）。

道筋

- 州と準州、および非政府教育当局と提携して、全国学校改善計画（National Plan for School Improvement）を法制化して実施する。この計画により、すべての学校が生徒に素晴らしい教育を提供するために必要

な資金を受け取ることができるように、学校予算が生徒のニーズを満たしており、追加資金が生徒の成績向上のために使用されることを確認する。この計画は、教師の質を向上させ、校長の権限を強化し、親と地域社会により多くの情報を提供することになる。

- 全国学校改善計画（National Plan for School Improvement）を通じ、州と準州、および非政府教育当局と提携してオーストラリア・カリキュラム（Australian Curriculum）を実施し、アジアの世紀のために生徒の能力を向上させる。

10. オーストラリアのすべての生徒は、カリキュラム全体にわたりアジア関連の科目を多数履修し、文化的な知識と技能を伸ばし、アジア地域で活躍できるようになる。

- 全国ブロードバンドネットワークの利用の増加などを通じて、すべての学校が少なくとも 1 校のアジアの学校と交流し、指定されたアジア言語の教育を支援する。

道筋

- 教科の枠を超えた優先項目を含む「アジアとオーストラリアのアジア地域での関与」など、オーストラリアカリキュラムを完全に実施する。
  州、準州、および非政府教育機関と協議しながら、オーストラリアの生徒がアジアに関する知識を学んでいる状況を追跡するための指標を開発する。
- 州、準州、および非政府教育当局、および高等教育機関と協力して、アジアの勉強が学校教育の中核的な部分となるために詳細な戦略を開発する。

11. オーストラリアの生徒は全員、学校教育期間を通じて、アジア言語を継続的に履修するように奨励され、その機会を与えられる。

- すべての生徒が少なくとも 1 つの指定されたアジア言語を学ぶことができる。指定されたアジア言語とは、中国語（標準中国語）、ヒンズー語、インドネシア語、日本語である。

道筋

- 連邦政府、州・準州政府、非政府教育当局で合意される教育機関への新しい資金提供の取り決めにおける中心的な要件として、オーストラリアの生徒全員が、指定されるアジア言語で質の高いアジア言語カリキュラム、評価、報告を継続的に利用できるようにする。
- 州、準州、非政府教育当局、高等教育機関との協力プロセスを主導し、全国ブロードバンドネットワークの利用のさらなる利用を含む、学校でアジア関連科目とアジア言語を採用するための詳細な戦略を策定する。
- 企業および地域社会と協力して、外国語を学ぶことのメリットの理解を深め、言語学習への需要を高める。

大学を通じて

12. オーストラリアの大学は世界でも有数の優れた研究・教育機関であり続ける。これにより、多数のオーストラリア人学生が優れた成果を上げ、世界中から最も優秀な学者および学生が集まり、オーストラリアと地域のつながりを強化する。

- 2020 年までには、大学の学部に入学する学生の 20%が社会経済的に低い層の出身者となる（2011 年は 17%）。
- 2025 年までには、25～34 歳の 40%が学士以上の資格を持つようになる（2011 年は 35%）。
- 2025 年までには、オーストラリアの 10 校の大学が、世界上位 100 校に入る。
- オーストラリアの大学の学生が多数海外に留学し、より多くの学生が大学の単位の一部をアジアで取得することになる。

道筋

- 国際教育諮問審議会（International Education Advisory Council）の指導による留学生の分野の強化を含め、オーストラリアの高等教育制度が利用できる範囲、品質、実績、柔軟性を継続的に改善するために、高等教育改革を推し進める。
- 現地の教育機関とのより密接な提携を通じてアジアで勉強するオーストラリアの学生数を大幅に増やすために大学と協力し、アジアで勉強する学生に対する資金支援と情報提供を充実させる。
- 全国ブロードバンドネットワークとデジタル技術の利用の増加などを通じて、大学教育の一環としてアジア研究およびアジア言語を履修する学生数を増やすように大学を支援する。
- すべてのオーストラリアの大学がアジアに進出することを奨励し、1 校以上の主要なアジアの大学と、振替可能な単位に関する交換留学協定を確立する。
- オーストラリア研究審議会（Australian Research Council）を通じて、その他の機構、オーストラリアの公的資金で賄われる研究組織による高品質の研究を支援し、オーストラリアの機関とアジア地域の機関との間の研究・教育の提携を強化する。

職業訓練制度を通じて

13. オーストラリアは世界最高レベルの職業教育および訓練制度を実施し、アジア地域における能力を構築し、高度な技能を備えたオーストラリアの労働力が継続的に能力を開発するための支援を行う。

- 2020 年までに、（2009 年の 50%弱から）就労年齢にあるオーストラリア人の 4 分の 3 以上が入門レベルの資格（サーティフィケート III 以上）を保持するようになる。

- オーストラリアの職業教育および訓練機関は、より多数のアジアの国々で教育事業を大幅に拡大し、これらの国々の労働力の生産的能力を構築し、オーストラリア企業と労働者がアジア市場でのプレゼンスを増大できるように支援する。

道筋

- 州・準州と協力して、新規の技能改革に関する全国提携協定（National Partnership Agreement on Skills Reform）を実施し、より多くのオーストラリア人が、業界と学生の需要に対応する質の高い職業教育および訓練を受けることができるようにする。
- 新しく設立されたオーストラリア労働力および生産性庁（Australian Workforce and Productivity Agency）、教育者、産業技能審議会の指導により、適切な計画、投資、提供を通じて、変化を続けるオーストラリアの技能ニーズに対応する。
- 地域のフォーラムを通じて、または二国間で、企業およびオーストラリアの業界パートナーと協力し、国内でパートナーシップを構築して補完的な技能および資格の評価と認識を進める。
- 産業スキル審議会（Industry Skills Councils）、オーストラリアの業界および労働組合、およびアジア地域でのそれらに相当する組織との間のネットワークを強化する。

アジアで活躍できるリーダー、職場、および機関

14. オーストラリアの企業、国会、国家機関（オーストラリアの行政機関、国の文化機関など）、社会全体の諮問フォーラムの意思決定者は、アジア地域の国々に関する深い理解と専門知識、そして国内および海外の問題を統合するための優れた能力を持つようになる。

- オーストラリアの上場企業上位 200 社および連邦政府機関（企業、当局、政府機関、委員会など）の取締役会のメンバーの 3 分の 1 が、アジアに関する深い経験と知識を持つようになる。
- オーストラリア公共サービス（APS 200）の上級管理職の 3 分の 1 が、アジアに関する深い経験と知識を持つようになる。

道筋

- アジア地域からの直接の専門知識を持つビジネス専門家をより多く含めるように、取締役会に勧める。
- オーストラリア企業取締役協会（Australian Institute of Company Directors）に、アジア文化能力研修を取締役コースと統合させるように勧める。

- 代表的な事業団体に進捗状況の年次報告を行うことを奨励する。これには、ASX コーポレートガバナンス審議会と協力して、事業慣習とプロセスに関する原則と推奨事項の報告を取り込み、アジアに関する適切な専門知識と知識を推進することが含まれる。
- オーストラリア労働組合審議会（Australian Council of Trade Unions）およびより広範な組合運動に対して、アジア地域に関する専門知識を広げ、より強固なパートナーシップを構築するように奨励する。
- 国内外の課題全体にわたる統合された政策分析、問題解決および実装の能力を向上させることで、オーストラリアの公共サービスを強化する。首相・内閣省長官、オーストラリア公共サービス委員がこれらの能力を育成するための戦略を開発する。
- アジア諸国との定期的な二国間および地域の関与を通じて、閣僚レベルの関係を強化し、政策上の成果を推進する。
- 対話的プログラムや大学セクタを介しての交流を含む中堅の政府高官の定期的な交流を通じて、強固な関係を構築する。

順応性

15. オーストラリアの地域社会および地方は、経済構造の変化の恩恵を受け、アジアの世紀に出現している新しい機会をつかみ取る。

道筋

- 業界および企業と協力し、持続可能な成長と雇用を確保するための戦略を策定する。
- 全国の地域社会および地方と協力し、構造的な移行の管理、経済の多様化、持続可能な成長を促進する新しい機会を活用できるように支援する。
- 調整されたインフラ、計画、国際関与活動を通じて、アジアへの玄関口の周辺に位置する洗練された住みやすい都市であり、多数の商品・サービスのための地域の拠点としてのダーウィンの発展を加速化させるために、企業や北部準州の政府と協力する。この戦略を北部オーストラリア内のその他の有利な位置にある高成長の都市、およびアジアとの結び付きを強めているオーストラリアのその他の地域へ拡張するために、選択肢を探索する。

社会基盤

16. オーストラリアは、公平、多文化で結合力がある社会でより高い技能と賃金の経済を実現し、人口も増え続ける。すべてのオーストラリア人は、オーストラリアの繁栄とアジアとの関与から恩恵を受け、それに参加することができる。

道筋

- オーストラリアの安定した、自由民主主義の制度と法律を維持し、支援する。

- 年金や家族支援制度など、世界の先端を行く社会制度を維持し、全国障害者保険制度、医療・高齢者ケア改革など、長期的な社会改革と投資を推進する。
- 企業および社会と共にあらゆるレベルの政府と協力して、人種差別反対政策とオーストラリア原住民との格差是正への取り組みを継続することにより、結合力のある多文化社会を促進する。
- 移民のコミュニティー、海外在住のオーストラリア国民、オーストラリアでの居住・就業経験者、オーストラリアまたはオーストラリア人と特別なつながりのある人々など、広範囲の提携およびネットワークを支援することで、オーストラリアの多様な人口を有効活用する。
- 変化するニーズに対応し、オーストラリア人の機会を保持してアジア地域での関与を支援する、オーストラリアの技能移民プログラムなど、柔軟性があり、反応が速く計画性に優れた移民制度の枠組みを維持する。

成長するアジア市場での運営と提携（第 7 章）

17. オーストラリアの企業は、その卓越性とアジア市場での事業の成功のために世界中で認識されるようになる。
    - オーストラリアの企業は、アジアおよび世界のバリューチェーンと提携して、高価値の製品・サービスを提供する。
    - 中小企業はアジア市場に統合される。

道筋

- アジアの世紀事業関与計画などを通じて、政府と国内およびアジア地域の企業との間での対話を強化し、この地域における機会を最大限に活用する。
- 外務省、貿易促進庁、エンタープライズコネクト、政府観光局、輸出金融保険公社（EFIC）、その他の政府団体が、業界団体および中小企業と協力して、アジア地域のバリューチェーンで競争して成功するために、能力を構築し、機会を特定して確保する。
- オーストラリアの中小企業の輸出会社の障害となる市場の失敗、特に新興市場やフロンティア市場での失敗に対応するために、より多くの EFIC のリソースが割り当てられるように、EFCI の権限を修正する。

18. オーストラリアの経済はより開放されてアジアと統合し、製品、サービス、資本、アイデア、人々の流れが容易になり、オーストラリアの企業および投資家は、アジアの機会をさらに活用できるようになる。
    - オーストラリアの対アジア貿易は、2025 年までには GDP の 3 分の 1 以上になる（2011 年は 4 分の 1）。

- オーストラリアは、貿易および投資障壁の削減、経済規制とコーポレートガバナンス協定の調整、インフラの接続性の向上により、アジア市場での事業運営費用を大幅に削減できる包括的な地域全体の協定に加入する。
- オーストラリアの企業とアジア地域の企業は、相互の法制度、商慣習、コーポレートガバナンス基準の深い理解に基づく、優れた仕事上の協力関係を持つことになる。

オーストラリアにおける道筋

- 予定された削減、そして WTO やその他の貿易協定の一部としての交渉済みの確約を通じて、オーストラリアの関税を削減し続ける。
- アジア地域のその他の国で設定されている取り決めを配慮し、オーストラリアの規制内にある、国境を越えた事業活動、投資、熟練労働者の移動に対する不必要な障害を軽減する。
- アジア地域の企業や提携先の政府と協力して、オーストラリアの国境管理枠組みを改善し、合法的な貿易と旅行に対する障害を軽減しながら効果的に脅威を管理する、情報に基づくリスクベースのアプローチを採用する。
- 長期滞在および数次入国ビザ、さらにオンラインビザの利用促進により、低リスクの渡航者がオーストラリアを訪問しやすくする。新興市場（特に中国）からの観光旅行者を増やすために、政府は独立した中国人観光客向けに合理化されたビザ処理のトライアルを基礎として発展させ、アジア地域全体で優先される旅行先としてオーストラリアを宣伝し続ける。
- オーストラリアへの海外からの投資を引き続き歓迎し、主要な投資家おや投資国を勧誘するなどして、投資先としてのオーストラリアを売り込む。
- オーストラリアの海外投資審査プロセスの透明性をさらに向上し続ける。

海外への道筋

- WTO、20 ヶ国首脳会議（G20）、アジア太平洋経済協力（APEC）フォーラム、東南アジア諸国連合（ASEAN）などの既存の多国間および地域フォーラムとその自由貿易協定のパートナー、さらに二国間の取り決めを通じて、貿易および投資への障害を軽減するために根気強く取り組む。
- 地域の協定内での競争の自由化を推奨することで、環太平洋戦略的経済連携協定（TPP）のための交渉への継続的な参加、そして地域包括的経済連携協定のための交渉への参加を通じて、アジア太平洋地域の自由貿易協定の締結に向けて取り組む。
- 企業のコンプライアンスコストを削減して貿易を推進する、貿易協定の原産地規則を促進する。

- ラテンアメリカとアジアとを結ぶ連接棒としてオーストラリアを位置付ける取り組みの一環として、チリ、コロンビア、メキシコ、ペルーから成る太平洋同盟に参加するメリットを評価する。
- アジア市場でオーストラリアへの投資をさらに利用できるようにするために取り組む。
- 安定した、効率的で開かれた金融市場を推進する、アジアでの市場ベースの改革を提唱し続ける。例えば、中国本土での豪ドルと人民元の直接取引の確立に向けてさらに努力をする。
- 例えば、アジア地域ファンドパスポート（Asia Region Funds Passport）イニシアチブなどの APEC の金融市場統合の取り組みを通じて行う、市場機会を開くためにアジア地域内の金融市場規制の補完性を目指す支援活動。
- 「国内」イニシアチブに関して域内のパートナーと協力し、統合された強健な地域経済を構築して、特にインフラ、農業と食品、教育、医療と介護、金融とサービス規制などオーストラリアが専門知識を持つ分野おいて、オーストラリアのために市場機会を開く。

オーストラリアの農業および食品セクタ（事例）

19. オーストラリアの農業と食品製造システムは、生産性の高く持続可能な農業・食品企業が事業展開して、世界的に競争力が高くなる。

- オーストラリアの食品製造業者と加工業者は、高品質の食品・農産品、サービス、技術をより多くアジアに提供する、革新的で信頼できる生産者として世界的に認識される。

道筋

- 全国食料計画を実行して、サプライチェーンに沿った政策により食品企業と消費者が利益を享受する統合された食品制度を育成し、オーストラリアが国民と世界の人々に対して栄養価のある手頃な価格の食料品を提供する、持続可能で生産的なサプライヤーであることを確認する。
- 共同作業、価格、革新における進歩を通じて生産性を高めるために、地方の研究開発企業モデルを維持する。
- 食品および農産品の輸出業者を支援するためにサービスを提供することにより、アジア市場へのオーストラリアの参加を増大させ、食品・食品加工、関連する輸送インフラ、自然資源の管理および水資源の保全において、アジア地域への双方向の投資を支援して、オーストラリアの地方や僻地、特に北部オーストラリアとタスマニアの開発を推進する。
- 貿易交渉、既存の政府間協定、政府間関係、およびオーストラリアの海外ネットワークを利用して農業製品や食料品の自由貿易を推進し、地域の食品安全を支援し、オーストラリアの生産者が市場に参入しやすくする。

- オーストラリア独自の環境、国民の健康、農業と食品業界を保護しながら、人や輸出入された物品の効率的な移動を実現するために、世界一流のバイオセキュリティ改革を実施する。
- オーストラリアの食品製造業者と加工業者が、土壌、水そしてエネルギーを含む天然資源を効率的に利用することを確認し、生産性の向上を支援し、それらの天然資源の持続可能性を維持する。

地域の持続可能な安全保障の構築（第 8 章）

20. オーストラリアの政策は、協力が慣習となっている持続可能な安全保障の地域としてのアジアの発展に貢献する。

道筋

- 経済・戦略的情勢が変化するにつれ、域内の主要な国々（中国、日本、インドネシア、インド、米国）の間での協力体制を促進する。
- アジア諸国の経済的比重の増加を反映して、アジア諸国が公平に主要な国際機関で代表されるように継続的に働きかけ、これらの国々が、これらの規則に基づく機関の一部となり、その形成に貢献するように奨励する。
- 中国が地域の戦略、政治、経済発展に参加するよう支援する。
- 米国と協力し、米国との同盟が地域の安定、安全保障、さらに平和に貢献している状態で、米国がこの地域において強固で一貫性のあるプレゼンスを持ち続けられるようにする。
- 国家安全保障声明書と防衛白書の発表を含め、この白書で示される安全保障に対する包括的なアプローチを維持する
- 国連憲章に基づいて、国際的、地域そして二国間の安全保障の枠組みや基準に対するオーストラリアの強力な支援を維持する。
- オーストラリアが 2014 年に主催する G20 を通じて、世界経済の安定と主要な強国間での協力関係に向けて取り組む。その際、経済成長と雇用に焦点を当て、世界経済を強化して、経済が変化する時期に国際規則と機関が効果的で問題に関連があるようにする。
- 2014 年の G20 の主催や国連安全保障理事会への加入を含め、国連や G20 などの国際フォーラムを活用して域内関係を強化し、さらにこれらの関係を利用して世界と地域の問題に対処し、これらの機関を強化する。
- 東アジア首脳会議を東アジアにおける地域の重要な制度とするために活動し、地域の課題の管理、戦略的対話の促進を支援し、政治、経済、安全保障問題での協力を推進する。
- テロ、人身売買、国際犯罪、不拡散と非武装、人権、災害の緩和と管理などの問題など、多様な問題にわたって地域のパートナーとの実践的な協力を推進し、現地での能力を構築する。

21. アジア地域は持続可能性が高まり、エネルギー、食料、水などの基本的なニーズに対する強健な市場の開発により、人間の安全保障が強化される。

道筋

- 成長する国際的な排出量取引市場、エネルギー、食料と水を支援するために、アジア地域内で活動する。これには、これらの市場の関連を認識する規制の改善などが含まれる。
- 各国の統計当局間の協力を通して、アジア地域での環境会計の継続的開発と利用を支援する。
- アジア地域内で活動し、競争力のある業界とより強固な貿易および投資パートナーシップを確実に実現するために、研究・開発に取り組むなどして、食料供給システムの能力を構築する。
- 中国、インドネシア、日本、韓国などのパートナー諸国と経験と専門知識を共有することにより、適切に機能する包括的な国際排出量取引市場を構築する。
- エネルギー効率を高め、研究開発、および新しい技術の導入と商品化に関する協力を強化し、国際フォーラムと地域フォーラムで、エネルギー市場に関する建設的な討論と協力的な解決策を奨励する。
- 貧困の削減、および持続可能性の向上を目指す協力的な関係を通して、信頼できる質の高い開発パートナーであり続ける。

より深く広い関係（第 9 章）

22. オーストラリアは国益を推進し、国の影響を維持するために必要な能力を持つ。

- オーストラリアの外交ネットワークはアジア全域に拠点を拡大する。

道筋

- あらゆるレベルの政府、企業、機関、地域社会と協力し、それを利用して、アジアにおける国益を推進する。
- 可能な状況となった場合、ウランバートル（モンゴル）に正式な大使館を開き、瀋陽（中国）、プーケット（タイ）、そして東インドネシアに領事館を開く。
- ASEAN にジャカルタを本拠とする大使を任命し、ASEAN 事務局、ASEAN 加盟国、ASEAN 関連フォーラムとの関与を支援する。
- すべての政府省庁が、国際的な考慮事項を国内政策の分析と実施に確実に取り込み、地域の相手国との協力関係を優先するようにする。
- 自治体レベルの関係、姉妹都市と姉妹州関係の価値の拡充と推進を含め、州・準州と自治体と地域内の相手先との間で、より強固な関係が構築されるよう支援する。

23. オーストラリアは地域全体の国々、特にアジア地域の主要国である中国、インド、インドネシア、日本、韓国と、より強固で包括的な関係を結ぶ。

道筋

- 中国とインドを最優先して、包括的な二国間構造を拡張する。
- 指導者、上級大臣、実業界のリーダーとの定期的な高レベルの会談、若手リーダーとの対話、国会、教育・文化機関、企業と公共サービスなどの機関の間で多量に発生する人とアイデアの流れを含む、二国間構造を作り上げる。
- 中国、インド、インドネシア、日本、韓国を優先国として、オーストラリアの社会と協力して包括的な国の政策を策定する。これらの戦略は、社会全体にわたる各国との関係に対する目標と優先度を設定する。これらは、国会に提出され、定期的に評価、更新される。
- オーストラリアと地域の経済機関との間でのより深くより包括的な二国間提携、地域経済フォーラムでのオーストラリアの関与の増加、さらにオーストラリアと地域の企業、およびオーストラリアに本拠を置くシンクタンクと大学ネットワークを介して、オーストラリアの経済・ビジネス外交を強化する（トラック 2 外交）。
- オーストラリア・ネットワークとラジオ・オーストラリアの資産と経験を組み合わせて、新しく再構成されたオーストラリア・ネットワーク・サービスが、地域内でのオーストラリアに関する知識を構築するための充実したオンライン要素を含む、効果的な公共外交ツールを提供することを確認する。

24. オーストラリアの社会全体にわたり、アジアの国々との人的交流がより深く、広くなる。

道筋

- アジアの国々に対して、5 年間にわたり 12,000 のオーストラリア賞（アジアの世紀）の提供を確約し、地域内の人的交流を奨励する。
- 時間の経過につれてアジアの国々とのワーキングホリデープログラム協定を拡大する。現在インドネシアと締結しているワーキングホリデービザの定員を 1,000 名に増やすことから始める。
- アジア出身者に授与されるオーストラリア賞（アジアの世紀）の対象範囲を拡大して、オーストラリアでの就業体験と中堅職員の長期有給休暇を含める。
- オーストラリアで教育を受けたアジアのリーダーの広範囲の卒業生ネットワークを、オーストラリア賞事務局を介してネットワークをとりまとめる中心の場所を提供することによって強化する。
- 将来のアジアのリーダーをオーストラリアに招く、質の高い民間セクタの奨学金をサポートする。

- 全国ブロードバンドネットワークとデジタル技術を利用し、オーストラリアの研究者、コミュニティーグループ、学生、学校および大学とアジアの相手先との間でのオンライン上の共同作業を増大させる。
- オーストラリアとアジア地域の宗教奉仕活動団体や地域社会組織との間の協力を推進するプログラムを育成する。
- オーストラリアのスポーツ、学術、専門家、科学者のコミュニティーが、協力や提携協定を通して、完全なアジアの一員となるように促す。

25. オーストラリアはアジアの国々とより強く、深くそして広い文化上のつながりを持つことになる。

道筋

- 世界でも有数の古い現存する文化を持ち多様性を歓迎するという、オーストラリア独自の文化の長所を認識し、強調する。
- 研修や能力構築などを含む、双方向の協力体制およびパートナーシップ協定を通して、オーストラリアの文化・芸術コミュニティーがアジア地域の完全な一員となるように奨励する。
- アジアで成功するために、オーストラリア評議会（Australia Council）の調査を政府が検討するなど、アーティストを支援する政府の活動を再検討し、オーストラリアを文化的に活気に満ちた、オープンな国として宣伝する。
- オーストラリア国際文化評議会（Australian International Cultural Council）を抜本的に改革し、オーストラリアを文化的に活気がある、オープンな国として宣伝するために、文化・芸術組織に対してより優れた支援を提供する。
- 代表団体を通してメディア業界と協力し、アジア地域関連のコンテンツとカバレッジを改善し、アジア地域全体の主要な出来事や問題に関するより多くのニュースが毎日確実にオーストラリア人に配信されるようにする。さらに、域内でメディア交流プログラムを推奨し、知識を構築する。
- オーストラリア放送協会（ABC）とスペシャルブロードキャスティングサービス（SBS）が、番組およびその内容のあらゆる面において、地域でより広範なカバレッジを促進する方法を検討するように要求する。特にニュースと情報の提供に注目し、その内容がオーストラリアとアジアの関係の深さと多様性を反映するように確認する。これにはアジア系オーストラリア人に母国語でニュースを提供するという SBS の拡大しつつある役割も含まれている。
- 文化外交と交流を強化し、文化、政治、安全保障、経済関係において、信頼、理解および自信を構築する。